第６講
神聖ローマ帝国・ヨーロッパの海洋進出・宗教改革

〔１〕**神聖ローマ帝国**（ハプスブルク朝以前）

ａ. シュタウフェン朝〔1138 ～ 1254〕

イタリア政策

神聖ローマ皇帝による，イタリア介入政策

ｂ. **大空位時代**（1256 ～ 73）

ｃ.『**金印勅書**』（1356）…**カール４世**

七選帝侯…三大司教‥マインツ・ケルン・トリーア

四大諸侯‥ベーメン王・ザクセン公・ファルツ伯・ブランデンブルク辺境伯

皇帝に対する，領邦君主（諸侯）の優位確定.

領邦（小国家）の形成

ｄ. **ハプスブルク家**による帝位の世襲化（1438 ～ 1806）

〔２〕**イタリア**

北部

都市共和国（12Ｃ）

ヴェネツィア共和国・フィレンツェ共和国・ジェノヴァ共和国など

ミラノ公国（14Ｃ～ 15Ｃ）…**ロンバルディア同盟**の中心

神聖ローマ皇帝と教皇の対立

皇帝党（**ギベリン**．貴族・領主）　⇔　**教皇党**（**ゲルフ**．大都市）

中部…教皇領

南部…**両シチリア王国**〔1130 ～ 1860〕

〔３〕**ヨーロッパの海洋進出**

キリスト教世界の拡大

十字軍・プレスター＝ジョン

伝説　レコンキスタ

東方への憧れ…『**世界の記述**』（**マルコ＝ポーロ**）

香辛料の獲得

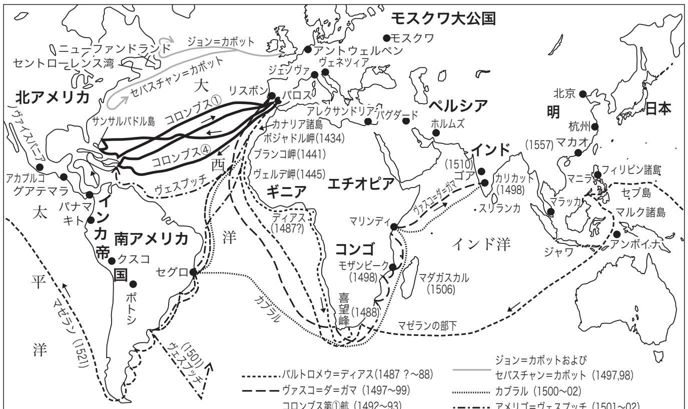
科学・技術の革新

世界地図（伊．**トスカネリ**の球体説）・地球儀（独．マルティン＝ベハイム）

ポルトガル（東回り）

①**エンリケ航海王子**

・セウタ攻略（1415）



ヨーロッパの人々による航路探索

・アフリカ西岸の探検を援助（ギニア湾に到達）

②**バルトロメウ=ディアス**（ポルトガル人．ジョアン２世時代）

・**喜望峰**（アフリカ南端）に到達（1488）

③**ヴァスコ=ダ=ガマ**（ポルトガル人）

・**カリカット**（インド西岸）に到達（1498）

スペイン（西回り大陸）

コロンブス（ジェノヴァ出身）…**イサベル**の援助

・**トスカネリの地球球体説**を信奉

・パロス港（スペイン）出航　**サンサルバドル島**に到達（1492．**西インド諸島**）

アメリゴ=ヴェスプッチ（フィレンツェ出身）

・南米大陸を探検．インドでなく**“新世界”**と報告（1500）

・ヴァルトゼーミューラー（独．地理学者）…**“アメリカ”**と呼称（1507）

カブラル（ポルトガル人）…**ブラジル**に漂着（1500．ポルトガル領）

バルボア（スペイン人）…**パナマ地峡**横断　→　太平洋発見（1513）

マゼラン（ポルトガル人）

・スペイン（1519）　→　**マゼラン海峡**　→　**太平洋**　→　**フィリピン**諸島（1521）

→　セブ島（フィリピン）で戦死　→　部下がスペインに帰還（1522）

海外領土分割条約

教皇子午線（1493．教皇アレクサンデル６世）

トルデシリャス条約（1494）

サラゴサ条約（1529）

〔４〕古代アメリカ文明

青銅器文明（鉄器・車輪・牛・馬などはなかった）

トウモロコシ・ジャガイモ・タバコ・トマトなど

A.メソ=アメリカ文明（メキシコ中心）

ａ. オルメカ文明…メキシコ湾岸

ｂ. テオティワカン文明

ｃ. マヤ文明…ユカタン半島，スペイン人により滅ぶ

ｄ. **アステカ文明**…メキシコ高原

アステカ王国（15C）　都　テノチティトラン

コルテス（スペイン）により滅ぶ（1521）

アメリカ大陸への進出

B.アンデス文明

インカ文明〔12C～16C〕…ペルー

インカ帝国（13C）　都　クスコ

文化…文字を知らずキープ（結縄）の使用・石造技術の発達

太陽崇拝（国王は太陽の化身）　鉄器・車輪は使用せず

マチュ＝ピチュ

ピサロ（スペイン）により滅ぶ（1533）

〔5〕世界の一体化

a. **商業革命**

ヨーロッパ経済（商業）の中心地が，地中海地域から大西洋沿岸へ移動

北イタリア諸都市の没落

b. **価格革命**

ラテンアメリカ産の銀が大量に流入　→　貨幣価値の低下　→　物価騰貴

〔6〕**宗教改革**（16C）

A.ドイツの宗教改革

「ローマの牝牛」…分裂状態のドイツ．教皇からの搾取

サン＝ピエトロ大聖堂の改築資金調達

教皇**レオ10世**　**贖宥状**（**免罪符**）をドイツで大量販売

マルティン＝ルター（ヴィッテンベルク大学神学教授） **『九十五ヵ条の論題』**（1517） 「信仰」による魂の救済．贖宥状販売を批判 『キリスト者の自由』を発表（1520） 信仰義認説 **“人は信仰によってのみ義とされる”** **ヴォルムス帝国議会**（1521） 神聖ローマ皇帝**カール5世**による招集 ルターは自説撤回を拒否 **ザクセン選帝侯フリードリヒ**（ヴァルトブルク城） ルターを保護 **『新約聖書』のドイツ語訳**

騎士戦争（1522）

ドイツ農民戦争（1524～25）　**ミュンツァー**主導

シュパイエル帝国議会

第1回：**ルター派**への妥協（1526）

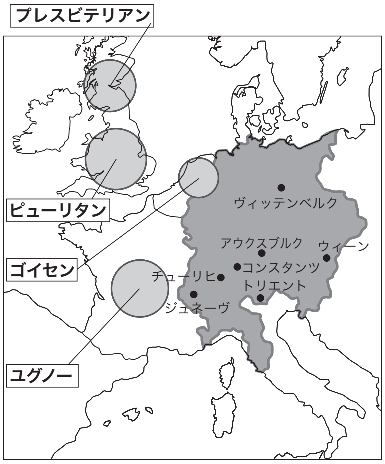
第2回：**ルター派**を再禁止（1529）　→　“プロテスタント”

シュマルカルデン同盟（1530）

トリエント公会議（1545～63）…カトリック改革

シュマルカルデン戦争（1546 ～ 47）
アウクスブルクの和議（1555）…ルター派の容認（領邦教会制）
宗派選択権を諸侯・都市に認める

B.スイスの宗教改革
ツヴィングリの改革　**チューリヒ**
カルヴァンの改革
『キリスト教綱要』
長老制度
予定説
各地のカルヴァン派…**ピューリタン**（英）・
プレスビテリアン（スコットランド）・
ゴイセン（蘭）・**ユグノー**（仏）



各地のカルヴァン派

C.イギリスの宗教改革
イギリス国教会の成立
ヘンリ8世（ヘンリ7世の子）
王妃カザリンとの離婚問題　→　教皇との対立
首長法の発布（1534）…**イギリス国教会**の成立
イギリス国教会の確立
『一般祈祷書』（1552）…エドワード6世
カトリックの復活…**メアリ1世**（スペイン皇太子フェリペと結婚）
統一法の発布（1559）…**エリザベス1世**　→　**国教会**の確立

D.カトリック改革
トリエント公会議（1545 ～ 63）
・**カール5世**による招集
・**宗教裁判**の強化（**禁書目録・魔女狩り**など）
イエズス会の成立（1534）
イグナティウス＝ロヨラ（スペイン人）
中南米・アジアへの海外布教（**フランシスコ＝ザビエル**）

第６講　確認問題

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　①シュタウフェン朝によるイタリア政策（そのときの皇帝派が②ゲルフ）の結果，神聖ローマ帝国は「大空位時代」となるが，その後しばらくして皇帝となった③カール４世は「金印勅書」を発布して④七選帝侯を定めた。

2　イタリアは，①北部ではヴェネツィア・フィレンツェ・ジェノヴァ・ミラノなどの②都市共和国が分立していた。③フランスが④イタリア政策をもって介入してくると，諸都市の内部では教皇党と皇帝党が互いに争い，国内統一をさらに困難なものとした。

3　ヨーロッパの人々は，マルコ＝ポーロの①『世界の記述』などにより東方への関心を高め，②アジア産の香辛料を獲得するための交易路開拓に熱心になった。同時期には，③レコンキスタも進行し，④イスラーム教布教の熱も高まっていた。

4　エンリケ航海王子のもとで積極的な航路開拓が進んだポルトガルでは，1488年には①バルトロメウ＝ディアスがアフリカ南端の②喜望峰に到達し，1498年には③カブラルがインド西岸の④カリカットまで到達した。

5　メキシコ高原では15世紀までに①アステカ王国が発展していたが，②ポルトガル人のコルテスによって滅ぼされた。ペルーでは③クスコに都を置いたインカ帝国が発展していたが，スペイン人の④ピサロによって滅ぼされた。

6　①1545年に発見された②ポトシ銀山などラテンアメリカの銀山から大量の銀が流入し，ヨーロッパの物価が２～３倍に上昇する③商業革命の結果，固定地代の収入で生活する領主は④打撃を受けた。

7　ルターの教説の影響で①ツヴィングリは農奴制廃止を要求する農民戦争を指導，ルターはそれを支持しなかった。より大規模な宗教戦争②シュマルカルデン戦争へと発展し，③1555年の④アウクスブルクの和議で「領主の宗教が領民の宗教」という原則が確立した。

8　カルヴァンは，①チューリヒで長老制度による指導を行い，②予定説をとなえて，西ヨーロッパ各地の宗教改革運動に影響を与えた。一方のカトリック教会側も，1545年の③トリエント公会議の開催や④ザビエルらが結成したイエズス会によって改革を進めた。

解答

1　②→ギベリン　　2　③→神聖ローマ帝国（ドイツ）　　3　④→キリスト教
4　③→ヴァスコ＝ダ＝ガマ　　5　②→スペイン人　　6　③→価格革命
7　①→ミュンツァー　　8　①→ジュネーヴ